

ゴールデンウィークの旅客実績概観

2018年5月8日

国内航空各社が発表したGW(4/27~5/6)の旅客実績*をもとに、傾向を概観した。

(注)各社公表値及び一部日刊航空の記事をもとにしている。(前年数値は変化率から逆算)
なおリジョナル航空のFDAは含めていない。

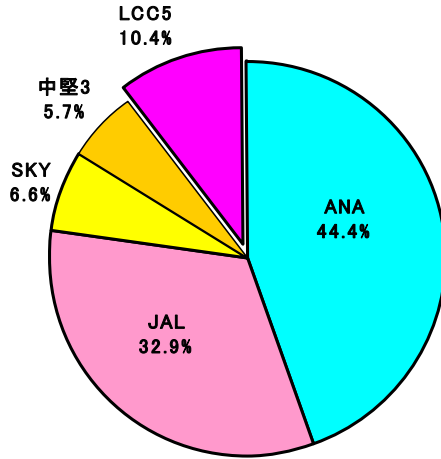
1. 概観

- ① 期間中の旅客数は、国内線・国際線ともに供給増率を上回る好調な伸びを示した。
特にANA国内線は小型化による席数微減の中で+7%(+86千人)の伸びであった。
- ② LCCの国内線旅客シェアは10%を超えた(座席シェアは9.3%)。
うちJetstar-Jは5%で、ANA系のPeachとVanillaは計4.9%とこれに並ぶ。
国際線(国内航空会社のみ)の数値)でのLCCシェアは18%であった。
- ③ 国際線でも大手2社の旅客数の伸びは大きいものであった。
- ④ 国内線の搭乗率は、大手2社は80%弱、一方SKYとLCCは85%を超えた。
国際線はANAが80%、JALとLCCは85%超であった。

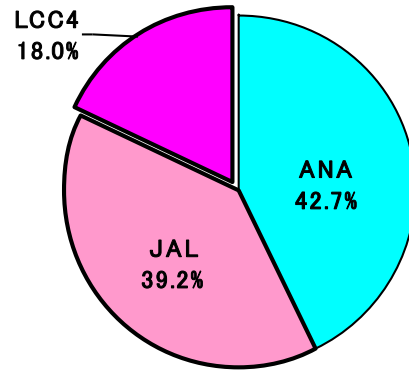
		(前年同期比)				
		旅客数	増減	率	搭乗率	旅客シェア
		千人	千人	%	%	%
国内線	ANA	1,414	86	107	76.3	44.4
	JAL	1,048	51	105	78.2	32.9
	SKY	211	17	109	87.3	6.6
	中堅3	181	7	104	82.3	5.7
	LCC5	330	33	111	88.2	10.4
	(国内線計)	3,183	195	107	79.0	
国際線	ANA	293	21	108	80.2	42.7
	JAL	269	21	109	85.7	39.2
	LCC4	123	3	103	88.2	18.0
		(国際線計)	685	46	107	83.7

2. 図表でみる GW の各社旅客実績

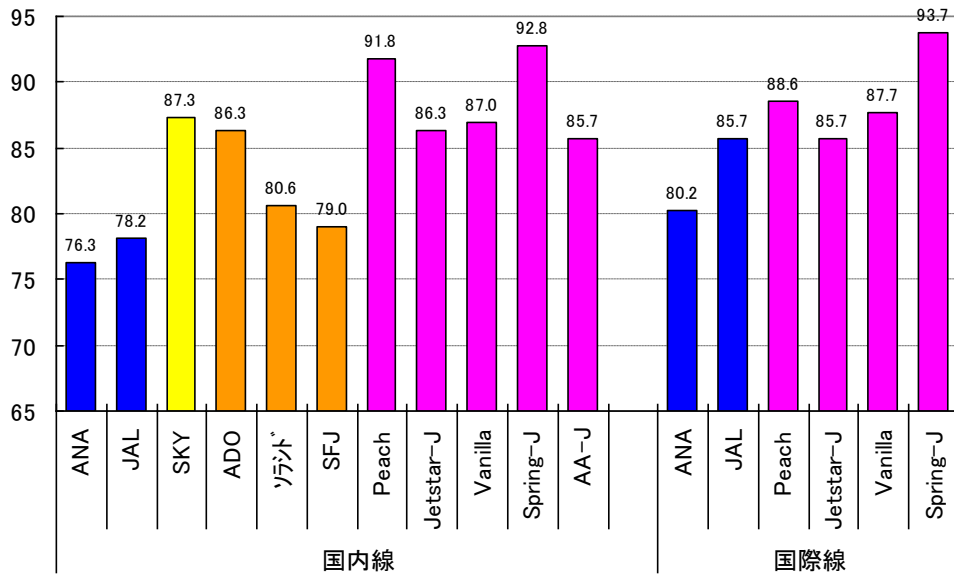
(国内線旅客シェア)



(国際線国内会社での旅客シェア)



(各社の搭乗率; %)



(各社の旅客実績)

	旅客数			搭乗率	旅客シェア
	当年	増減	率	当年	当年
(国内線)	千人	千人	%	%	%
ANA	1,414	86	107	76.3	44.4
JAL	1,048	51	105	78.2	32.9
SKY	211	17	109	87.3	6.6
ADO	72	3	105	86.3	2.3
ソラシド	61	3	104	80.6	1.9
SFJ	48	2	104	79.0	1.5
(中堅3社)	181	7	104	82.3	5.7
Peach	104	13	115	91.8	3.3
Jetstar-J	160	18	112	86.3	5.0
Vanilla	50	3	107	87.0	1.6
Spring-J	7	-10	42	92.8	0.2
AA-J	9	9		85.7	0.3
(LCC5社)	330	33	111	88.2	10.4
合計	3,183	195	107	79.0	100.0
(国際線)					
ANA	293	21	108	80.2	42.7
JAL	269	21	109	85.7	39.2
Peach	65	5	108	88.6	9.5
Jetstar-J	20	0	102	85.7	2.9
Vanilla	32	-2	93	87.7	4.6
Spring-J	7	1	109	93.7	1.0
(LCC4社)	123	3	103	88.2	18.0
合計	685	46	107	83.7	100.0

以上